

## 臨床研究に関する情報

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] ステロイドによるカルシニューリン阻害剤腎毒性進行抑制効果の研究

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 渥美 達也

[研究責任者名・所属] 堀田 記世彦 泌尿器科・講師

[研究代表機関名・研究代表者名・所属] 堀田 記世彦 泌尿器科・講師

[共同研究機関名・研究責任者名]  
市立札幌病院 腎臓移植外科 田邊 起

[研究の目的] 抗炎症作用をもつステロイドがカルシニューリン阻害剤による腎毒性に影響を及ぼすかどうかを、移植腎生検または移植腎摘出時の組織を用いて調べ、カルテ情報とあわせて解析することを目的としています。また、患者さんの血液・尿中の炎症回路関連遺伝子群の評価を実施します。

## [研究の方法]

## ○対象となる患者さん

当院で、2001年1月1日から2020年12月31日に腎移植術を受け、研究目的で検体を保管されることに同意された方を対象とします。ただし、その他の合併症や治療経過により、担当医師が不適切と判断した患者さんは除きます。

## ○利用する検体・カルテ情報

検体：手術標本（移植腎生検、移植腎摘出サンプル）、尿・血液の保存検体（北海道大学病院の患者さんのみ）

カルテ情報：

- 1) 対象者基本情報：年齢、性別、原疾患、既往歴、移植日、治療内容、免疫抑制剤などの患者背景(ステロイドの有無、カルシニューリン阻害剤の有無など)
- 2) 画像検査所見（CT画像、MRI画像）
- 3) 病理結果（カルシニューリン阻害剤腎毒性所見の有無）
- 4) 最終転帰

## [研究実施期間]

実施許可日～2029年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができ

ます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

\*上記の研究に情報・検体を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北14条西5丁目

北海道大学病院泌尿器科 担当医師 堀田 記世彦

電話 011-716-1161

FAX 011-706-7853